保護者等向け 児童発達支援評価表(あおぞらキッズ集計結果) R6.1.30現在 【配布25/回収23/回収率92%】

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | わから ない | ご意見 |
|---------|----|---|----|---------------|-----|-----------|--|
| 環境・体制整備 | 1 | 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか | 20 | 3 | 0 | 0 | ・部屋がいくつもあるので広々と遊べる。 ・十分の基準がわかりません。 ・欲を言えばもう少し広さがあればとは思います。 ・活動部屋数が多く、それぞれの部屋も広いのでのびのびと遊べる。 ・今はMAX10人で10人or 9人でプレイの部屋にいる時は狭く感じます。 |
| | 2 | 職員の配置数や専門性は適切であるか | 16 | 4 | 0 | 3 | ・新年度が始まったばかりの頃は、もっと先生方のサポートがあっても良いのではなかろうかと感じました。 ・専門性は適切だと思いますが、ギリギリの人数で頑張っていらっしゃる感じに見えました。 ・目を離さず見てくれている。 ・OT、ST専門の先生はいないものの、発達センターと連携があり心強かった。 ・もう少し職員さんがいてくれるといいなと思います(増やしてほしい)。 ・特に朝の時は1人か2人増やしてもらいたい。 ・休みの子が少ない日などたまに先生達が大変そうに見える。 ・いつも相談させて頂いています。専門職の先生から改めてアドバイスを頂くこともあり、感謝しています。 |
| | 3 | 生活空間は、本人にわかりやすい <u>構造化された環境*1</u> になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等の配慮が適切になされているか | 20 | 2 | 0 | 1 | ・建物が古いため、きちん整理整頓・掃除はされていて問題はないが、設備の古さが少し気になる。 ・話が伝わってるのかどうか心配になるときがあります |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっているか | 20 | 3 | 0 | 0 | ・先生方がテキパキと掃除や消毒をしてくれている ・特定の部屋が寒い、暑い等があり、キッズの移 転ないし建て替えが必要かもしれない。 |
| | 5 | 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、 <u>児童発達支援計画*2</u> 作成されているか | 21 | 2 | 0 | 0 | ・定期的にモニタリングがある。 ・面談の上作成していただいてます。 ・よく保護者の話を聞いた上で、計画を作成してくれている。 ・面談に十分な時間をとってくれて、要望を入れて計画を作成してくれる。 |
| 適切な | | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児 童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及 び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容 から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上 で、具体的な支援内容が設定されているか | 19 | 2 | 0 | 2 | ・「地域支援」という観点は薄いように思う。 ・個々に合わせてイラストカードなど作成して下さった り、1人1人の成長に合わせたサポートをして頂いています。 |
| 支援 | 7 | 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか | 21 | 0 | 0 | 2 | ・子どもに合わせて支援をしてくれている。 |
| の提供 | 8 | 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか | 19 | 1 | 0 | 3 | ・色々な活動プログラムが用意されている。・日々の活動が、本当にとても素晴らしいです。・活動プログラムが多く、内容も工夫されている。 |
| | 9 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない 子どもと活動する機会があるか | 15 | 6 | 1 | 1 | ・希望者は交流保育等がある(3人)。 ・希望者は交流保育ができるので良い。 ・幼稚園交流などご案内を頂いたことはありますが、希望しませんでした。 ・今年機会はあったが、当方都合で実施はできなかった。来年はしてみたい。 ・希望者のみとなっているので、園に他園の園児が来ることはないので、何か交流する行事などがあってもよいかもしれない。 |
| | 10 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた か | 22 | 0 | 0 | 1 | •入園時 |
| | 11 | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき 支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなさ れたか | 22 | 1 | 0 | 0 | |
| | 12 | 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか | 19 | 1 | 0 | 3 | ・色々とアドバイスをしてもらえる。 ・勉強会とても助かる。 ・勉強会・研修会(日曜開催もあり)とても良いです。 ・年少クラスは親子通園のため、日々トレーニングして頂いています。 |
| | 13 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康 や発達の状況、課題について共通理解ができているか | 21 | 2 | 0 | 0 | ・連絡帳や電話で伝えてくれる。 ・伝え合う事が出来るので、安心して通う事ができている。 ・毎日の連絡帳や電話などでも日々の状況を伝えてくれる。 |

| 保護者への | 14 | 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか | 20 | 2 | 1 | 0 | 電話等で相談すると、アドバイスをしてくれるので、助かっている。 本当におかげ様で、子供がのびのびとできることが沢山増えました。 モニタリングの時以外あまりなく思える。 |
|-------|----|---|----------|---------------|-----|-----------|---|
| 説明等 | 15 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保 護者同士の連携が支援されているか | 14 | 5 | 1 | 3 | ・コロナ禍直後だということや、父母会運営者のマンパワーの不足で活動がほとんど行えなかった。 ・コロナがあったりであまり父母の会はできてないかと。 ・マチコミはテストメールだけで全く役にたっていない。 ある意味ありますか? |
| | 16 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか | 20 | 2 | 1 | 0 | ・相談するとすぐに考えてくれて、園生活に取り入れてくれる。 |
| | 17 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮 がなされているか | 20 | 2 | 1 | 0 | |
| | 18 | 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予 定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を 子どもや保護者に対して発信されているか | 18 | 1 | 1 | 3 | ・ホームページみれていない。 ・そもそもHPにそういったことがのってないように思う。それを分かった上で質問しているのですか? |
| | 19 | 個人情報の取扱いに十分注意されているか | 22 | 1 | 0 | 0 | ・基本「はい」なのですが、前に一度他のお子さんの連絡帳の中身がまぎれこんでた事が有ります。子供達のわちゃわちゃな中で注意が欠けてしまうことがあっても仕方ないと思っています。 |
| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | わから ない | ご意見 |
| 非常時等 | | | | | | | |
| 常時 | 20 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか | 19 | 1 | 0 | 1 | ・避難訓練が定期的にあります。防犯については把握できておりません。 |
| 常時等の対 | 20 | ニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。ま | 19 21 | 0 | 0 | 0 | できておりません。 |
| 常時等の | 21 | ニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必 | | | | | できておりません。 |

(注釈)

- *1「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。
- *2「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達管理責任者が作成します。
- *3「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目標を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。
- *4「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。